

Ⅲ 成果と課題

成 果

- ・メンター方式の考え方を取り入れた小・中学校養護教諭連携研修を工夫することによって、実践期養護教諭は学校の課題解決に必要な知識・技能を習得し、学びの意欲を高めることができました。
- ・メンター方式の考え方を取り入れた小・中学校養護教諭連携研修を通して、実践期養護教諭が、貢献期・実践期養護教諭から知識・技能を習得し、実践力の向上を図る体制づくりができました。また、実践期養護教諭と貢献期・充実期養護教諭とのコミュニケーションが円滑になり、信頼関係が深まる体制づくりができました。

課 題

- ・メンター方式の考え方を取り入れた小・中学校養護教諭連携研修を活性化するためには、貢献期・充実期養護教諭が、実践期養護教諭のキャリアステージを意識した研修の企画・運営を目指すことが更に必要になると考えられます。
- ・中学校区における養護教諭の年齢構成や経験年数が不均衡な場合もあるため、効果的な小・中学校養護教諭連携研修の実施に向け、必要に応じて、実践事例を豊富に持つ貢献期・充実期養護教諭を講師として招いたり、近隣の中学校区が連携し合同での研修を行ったりするなど、学び合いのネットワークを広げることが望まれます。
- ・小・中学校養護教諭連携研修が実践期養護教諭育成研修として更に機能するために、貢献期養護教諭と充実期養護教諭が、それぞれに役割分担を図ることが必要であると考えます。